



おもちゃ箱とめ 事業者における放課後等デイサービス自己評価結果

公開日：2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	室内スペースは十分とは言えませんが、分かりやすいように構造化に努めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	個別療育と集団療育の職員をそれぞれ配置し、一人一人の発達に応じた支援を行っています。	バリアフリー化はできていない箇所があるので、今後対策を検討していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	毎日清掃を行い、清潔な環境づくりを目指しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	2	事業所で目標設定をし、よりよい支援の向上を意識しています。	今後も職員全体で話し合いを行い、業務の改善策について検討していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	年に一回実施し保護者の方の意向を職員全員が把握し業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	12	第三者による外部評価は実施できておりませんが、相談支援専門員や他の事業所の方の意見を聞き業務改善につなげています。	第三者評価は実施できておりません。第三者からの評価受審については今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	各職員が研修を受講する機会を確保し、研修受講後は全体会議で情報共有を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	モニタリング等、保護者の方との面談時にニーズ等を伺い、それを元に児童発達支援管理責任者と支援担当者が話し合いの上作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	児童や保護者の方の要望に合わせ、分かりやすく具体的な支援内容を設定しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	できる限り全員が参加できるように日程調整をし、会議を開催して活動プログラムの立案を作成しています。	活動プログラムの立案会議に参加できなかった職員の意見も取り入れながら、活動プログラムに反映させていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	季節行事等を必ず取り入れながら色々な経験ができるように考え、プログラムが固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2	支援終了後は送迎等で難しい場合もありますが、支援の中で気づいた点や、気になることを職員間で伝えあい、情報共有しています。	情報共有の徹底のための話し合いの場を設け、より良い支援に繋がっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	12	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	集団活動のダンスでは、好きな音楽をリクエストできる日を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	左記の内容でこれからも継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	0	子どもと保護者の同意を得て、必要に応じて障がい福祉サービス事業所等へ支援内容やアセスメントを提供している。	今後も子どもと保護者の同意を得て、必要に応じて障がい福祉サービス事業所等へ支援内容やアセスメントを提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	10	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	12		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	保護者の方や利用児童に対して分かりやすく丁寧な説明を心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	支援計画の説明時に、支援内容の説明を行い、保護者の方からの同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10	2	保護者会等はないですが、年1回事業所のお祭りを開催し、保護者同士の交流の場を設けています。	お祭りだけではなく、保護者同士の交流を設ける場の提供を検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	苦情や申し入れについては苦情窓口を決め、頂いたご意見は全職員に周知し、迅速かつ適切に対応するように心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	通信紙やブログにて活動概要や行事予定を公開しています。気になる点・連絡事項等は、連絡帳に記載するようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	0	高校生との交流会を開催しています。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	契約時や面談時にマニュアルがあることを説明しています。	現状マニュアルに関して保護者の方への周知が不十分であると考えられるので、面談時等に伝えていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	事前のアセスメントで、保護者様より詳しく情報を頂き、職員全員が把握するようにしています。	保護者の方から詳細に情報を頂き、医師の指示書がある場合にも全職員への周知を徹底し、細心の注意を払ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	ヒヤリハットが起こった際は、状況確認と記録を迅速に対応後、会議において全職員に周知徹底し、再発防止に努めています。	作成しファイルに保管済みですが、職員への周知が不十分なため再度周知を図ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0			